

テニスとの出会い

坂本 尚子(平野区)



リレー エッセイ 260

遠い昔、また高校生になる前の事である。少女を中心にテニスブームを起した『エースをねらえ!』というスポーツ根性漫画があった。主人公の岡ひろみが、ライ

バルからのいじめや様々な苦難を乗り越えて一流のテニス選手へと成長していく過程を描いている。ご多聞に漏れず、私もすっかりスポ根漫画にはまる事となった。高校生になったら絶対テニス部!と心に決めていた。だから。

しかし、残念なことに私の高校には軟式テニス部しかなかった。とりあえず入部したが、硬式テニスと違い、軟式テニスは前衛・後衛とポジションが決まられており、背の高い私は前衛となりネットにへばりついて壁の様に立っているだけだった。思っていたの

とは違った為、すぐに挫折となったのである。けれど、テニスへの憧れは消えなかった。大学に入って硬式テニス部に入部。嬉しいっぱいでスタートしたテニス部生活。毎日田子の周りをランニング、素振り、コー

ト整備、ボールパウンの繰り返しだったが、教養課程の2年間、休まず一生懸命頑張りが続いた。そんな中、いろんな状況が悪い方へ転び、2度目の途中挫折となった。テニスへの思いだけが残ってしまっている。

その後、大学を卒業してから念願の楽しいテニス生活が始まった。テニススクールに通い、仲間も増えて、草トーナメントへのチャレンジも始まるのだが、試合は難しく頭打ちばかり。簡単には勝てないし試合の度に課



絵 藤田 進 (河内長野市)

題だけがが増えていくのである。個人レッスンを受けて、相手よりも一球でも多く続ける努力をするのだが、いかんせん、テニスの道は、かなり深いのである。

10年以上も続けている岡山「いの村」でのテニス合宿というのがあり。旧知の仲間と昔話をしながら、テニスをして遊べるのだが、最高に楽しいのである。

坂本先生ありがとございました。次回は坂本先生のご紹介で中原将夫先生(東大阪市)にバトントンタッチされます。どうぞ期待ください。

わが街 わが地区



経営講座

患者サイドの行動で活路

吉岡氏、患者署名の効果強調

北大阪地区

北大阪地区は1月23日、吉岡正雄氏(兵庫県保険医協会副理事長)を招いて「低成長時代の歯

科医院経営」講演会を吹田市内で開催した。45人の参加者で会場がいっぱいになった。

今、まさに進行中の「医療崩壊」のひとつの側面として医院収入の低迷、経営の圧迫に焦点を当て、景気低迷による受診抑制が現実になってい

ると厳しい現状をデータで示された。少し未来を見れば「歯科医師増問題はピークを過ぎたのではないか?」といった明るい分析も交えながら、今こそ経営改善に取り組みば生き残れる、言い換

えれば経営改善こそが今後のポイントとなるという講演会であった。例えば、国民皆保険制度を守るなどの患者サイドに立

った署名活動は、患者さんには「私たちの味方」であるということを理解してもらえないと、本来の目的ではないが患者さんとの信頼関係を得ることになる。また、見方を交えれば費用のかかる宣伝広告より有効ではないかと話された。

診療報酬のアップが望めない現状でも、いろいろな工夫や社会活動など多面的に取り組むことで可処分所得増など経営安定は可能で、例えば10%の診療報酬のアップに匹敵する改善はできると吉岡氏は強調した。

私たちはどんな厳しい状況でも、ただ後向き

の気持ちになったり、守りの行動をとったりするよりも、医療者同士が知恵を出しあい、また患者サイドに立って前向きに行動することが何より大切であり、そここそ活路があると感じた講習会であった。

(吹田市・福原 稔)

基本であり、それが一番日本人に適合している。豊田氏は強調した。

伝統的な食習慣を大切に、日本で生産できるものを産地地産するものがベストであるが、それにプラスして土産土消するのがよいと豊田氏は述べた。

「食」通じ環境への理解を

大阪市東部・北部地区 食育講習会開く

協会の大阪市東部・北部地区は「歯科からの食育、考え方と最新情報について」と題して1月23日、豊田裕章氏(浪速区)を招いて保険医会館

で講演会を開いた。歯科からのアプローチではあったが、今回の講演は、それよりもっと大局を見ていくことが大切であるという趣旨であっ

た。具体的には、地球全体の事を考え、多様な生き物・豊かな自然環境を守っていくことと行動する生活様式を育成し確立して

いくことが大切であるという考え方である。豊田氏によれば、私たち日本人には日本人に合った食べ物があり、欧米人には欧米人に合った食べ物があるという。

日本人の場合、古くから伝わる米、大豆、植物性発酵食品(味噌、お漬物、納豆など)や、魚介類を中心とした食生活が

土産土消とはその土地で採れたものを、その土地に伝わる調理法で料理することが一番理にかなっているという考え方である。この考え方により日本食を食し日本の事を考え地元の事をよく理解し、感謝できる心を育てることが食育であると教えていただいた大変有意義な講習会であった。

(淀川区・松本博)

大阪市の西側地区主催「歯科領域に関連の深いアレルギー疾患」

日時 2月27日(日) 午前10時~正午
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 曾和順子氏(大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学講師)
会費 会員無料、未入会者1万円

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

2月度生涯研修
「歯科における、精神疾患を持つ患者治療のアドバンス―発達障害を持つ患者への対応―」
日時 2月20日(日) 午前10時~午後0時30分
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 清水聖保氏(清水クリニック院長(精神科医))
会費 会員3千円、未入会者1万円

「社保講習会」
日時 2月26日(土) 午後6時~8時
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
内容 第1回(初・再診料、医学管理料、訪問診療) 第2回(3月26日(土)) (検査、画像診断、処置、手術)、第3回(4月23日(土)) (歯周疾患、歯冠修復、ブリッジ、有床義歯)
※「歯科保険診療の研究」(2010年4月版)、「2010年改定の要点と解説」をご持参ください。

大阪市西部地区主催
「歯科領域に関連の深いアレルギー疾患」
日時 2月27日(日) 午前10時~正午
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 曾和順子氏(大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学講師)
会費 会員無料、未入会者1万円

個別指導対策講習会
「指導対策とカルテの書き方注意点」
日時 3月5日(土) 午後7時~9時
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 社保研究部講師団 会費 会員無料
内容 厚生局開示資料から個別指導の傾向と対策、日常のカルテ記載の注意点についての解説
※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト」(2010年8月版)をご持参ください

3月度生涯研修
「再根管治療のグローバルスタンダードを目指して」
日時 3月6日(日) 午前10時~午後1時
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 牛窪敏博氏(東大阪市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

大阪市北部・東部・南部地区総会
「スーパードライブ」
日時 3月12日(土) 午後6時30分
会場 M&Dホール 定員 1000人
講師 メーカー担当者(サンメディカル・生化学工業(株))
会費 会員無料、未入会者1万円
総会 各地区とも午後6時より保険医会館・M&Dホールで開催
未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。